

令和8年度 ハローワークのマッチング機能に関する業務の安定所別目標値等

1(1) 主要指標(業務目標)

項目\所別	北海道	札幌	札幌東	札幌北	函館	旭川	帯広	北見	紋別	小樽	滝川	釧路	室蘭	岩見沢	稚内	岩内	留萌	名寄	浦河	網走	苫小牧	根室	千歳
就職件数(一般)※1	42,544	5,795	4,891	3,241	4,193	3,224	2,647	1,843	411	1,681	1,135	2,315	2,095	1,106	552	550	422	614	605	593	2,198	955	1,478
令和7年度 実績値	42,394	5,840	4,921	3,121	3,993	3,180	2,740	1,958	397	1,635	1,149	2,375	2,047	1,043	673	535	405	624	621	634	2,168	920	1,415
充足数(一般、受理地ベース)※2	43,402	8,204	3,991	3,772	3,888	3,224	2,793	1,834	403	1,700	1,022	2,213	2,013	973	510	478	379	586	551	532	2,099	896	1,341
令和7年度 実績値	42,034	7,923	3,913	3,729	3,658	3,122	2,676	1,817	366	1,605	988	2,190	1,877	889	610	474	350	574	543	565	2,024	849	1,292
雇用保険受給者の早期再就職割合※3	32.3%	30.0%	32.1%	36.2%	34.6%	30.7%	26.6%	30.0%	34.9%	35.1%	27.6%	34.5%	32.2%	30.8%	32.4%	33.7%	36.4%	32.5%	32.1%	25.5%	35.8%	35.4%	33.5%
令和7年度 実績値	30.3%	29.5%	30.0%	32.8%	31.6%	29.1%	26.2%	30.0%	34.5%	31.3%	24.4%	33.3%	29.5%	30.2%	30.3%	30.2%	35.0%	34.3%	28.8%	23.1%	32.4%	35.9%	29.4%
人材不足分野の就職件数	13,535	1,676	1,587	1,100	1,457	1,113	834	605	109	518	396	825	684	367	145	137	116	182	156	152	695	221	460
令和7年度 実績値	13,031	1,608	1,528	1,033	1,364	1,059	794	607	118	501	372	843	610	336	151	111	105	185	149	178	673	243	463

※1 ハローワークの職業紹介により一般就職した件数で、オンラインハローワーク紹介による就職を含む。(一般とは、常用及び臨時・季節を合わせた仕事をいう。)

※2 北海道内のハローワークで受理した一般求人に対して、全国のハローワークの職業紹介により就職した件数で、オンラインハローワーク紹介及びオンライン自主応募による充足を含む

※3 雇用保険受給者が、基本手当の支給日数を3分の2以上残して早期に再就職した割合

※4 常用で算出

1(2) 主要指標の目標達成に向けた主な取組内容

就職件数	求職者に対する就職支援の更なる強化 【求職者担当者制の積極的実施】 相談支援サービスの強化を目的として、能動的なマッチングを推進するほか、1人の求職者に対して担当者を定めて一貫した支援を行って「求職者担当者制」を拡大させる。 【能動的なマッチングの推進】 求職者担当者制をベースに、適格な求人を選定して提案する積極的な求人提案型の紹介を、来所時の課題解決支援サービスとオンラインサービスを組み合わせて実施する。 【在職者も含めたオンライン登録者に対するハローワーク支援への誘導】 求職者マイページを活用した利用勧奨を通じて、求職登録はしているもののハローワークの支援サービスを利用していない層の取り込みを図るとともに、来所せずに支援サービスを受けられるよう、オンラインサービスへの積極的な誘導を行う。
充足数	求人充足・人材確保等求人者支援の充実 【求人内容充実のための積極的な提案】 求人受理時には、充足対策のために整備した賃金情報やバランスシート等を活用の上、求人内容の充実化に取り組むほか、条件緩和の働きかけについても積極的に推進する。 また、事業所訪問等により事業所の画像情報や求人票に記載されている以上の事業所に関する特徴や求人に関する情報等を把握し、円滑な職業相談・紹介に繋げる。 【ハローワークにおける事業所情報揭示、面接会等の実施】 ハローワーク及び求人事業主が連携の上、事業所情報等の所内掲示(ホームページでの周知も含む。)に取り組むほか、企業説明会等を積極的に開催し、求人・求職のマッチングを促進する。
雇用保険受給者の早期再就職割合	雇用保険受給者の早期再就職支援の充実・強化 【雇用保険受給者の認定日相談の充実】 失業認定時の職業相談において、求職活動の課題が解決するよう職業相談の充実化に努め、早期再就職を促進する。 【給付制限対象者に対する支援の実施】 給付制限期間中の求職者に対して職業相談を促すとともに、求人情報の提供等を積極的に行うことにより、マッチングの推進を図る。 【再就職手当の活用促進】 受給資格決定・初回説明会・認定日相談時を中心に、再就職手当の利用による早期再就職のメリットについて説明し、活用促進を図る。
人材不足分野の就職件数	人材不足分野における求人者支援の充実・強化 【事業所訪問等のアウトリーチ支援の強化】 人材不足分野支援対象求人に対して事業所訪問を行い、求職者ニーズに基づき、求人内容の充実化などの求人コンサルティングに取り組むほか、条件緩和の働きかけについても積極的に取り組む。 【能動的なマッチングの推進】 人材不足分野への就職可能性がある求職者に対し、求人情報の積極的な提供を行い、マッチングの推進を図る。 【キャリア転換のための学び直し支援】 今後人材ニーズの縮小が見込まれる職種を希望する人材に対し、円滑な職種転換を実現するため、リ・スキリング支援を推進する。

2 マッチング補助指標（業務目標）

所別 項目		北海道	札幌	札幌東	札幌北	函館	旭川	帯広	北見	紋別	小樽	滝川	釧路	室蘭	岩見沢	稚内	岩内	留萌	名寄	浦河	網走	苫小牧	根室	千歳
新規求職者1人当たりの紹介件数		0.62	0.79	0.66	0.59	0.64	0.58	0.51	0.55	0.36	0.67	0.54	0.67	0.67	0.54	0.45	0.41	0.45	0.42	0.49	0.43	0.55	0.53	0.53
	令和7年度 実績値	0.63	0.81	0.66	0.57	0.63	0.58	0.52	0.57	0.39	0.64	0.55	0.69	0.69	0.53	0.49	0.43	0.47	0.43	0.51	0.46	0.54	0.54	0.52
「有効期間中1件以上紹介があった求人数」の割合		29.6%	31.2%	28.4%	32.9%	33.8%	26.2%	28.4%	29.4%	26.2%	29.0%	26.9%	32.2%	30.2%	28.4%	27.7%	18.4%	26.6%	21.3%	27.2%	25.4%	30.0%	26.4%	27.8%
	令和7年度 実績値	29.7%	31.3%	28.5%	33.1%	33.8%	26.7%	28.5%	29.5%	27.2%	29.5%	27.3%	32.4%	29.8%	28.4%	26.5%	18.7%	26.0%	22.9%	27.9%	26.3%	29.2%	27.0%	28.3%

3 満足度指標（業務目標）

所別 項目	共通
満足度(求職者)※5	91%以上
満足度(求人者)※5	83%以上

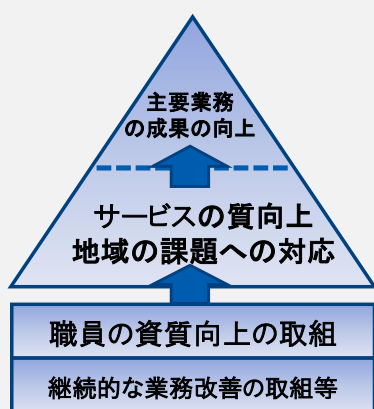
※5 目標値は全国一律

ハローワーク総合評価について

- 平成27年度から、目標管理・業務改善の取組拡充等を柱とする「**ハローワーク総合評価**」を開始。
- 毎年度、すべてのハローワークにおいて業務毎に目標値を設定し、その達成状況に応じた4段階の相対評価等を実施し、次年度以降の業務改善に繋げる。このように、**(1)目標管理、(2)相対評価・実績公表、(3)評価結果に基づく業務改善**といった一連のPDCAの流れを続けることにより、**継続的なサービスの質の向上を図る**。
- 取組状況や評価結果は公表し、労働政策審議会（本省）や地方労働審議会（労働局）にも報告。

(1) 目標管理・取組の評価

- ・ ハローワークの中核であるマッチング業務成果を測定する就職件数等の**主要指標**のみならず、
① マッチング業務の過程等を評価する**マッチング補助指標**
② サービスの質に関する**満足度指標**
③ ハローワーク毎に、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である**所重点項目**を加え、総合的な観点から目標管理を実施。



短期的な成果の向上だけでなく、
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り、
マッチング機能を強化

(2) 相対評価・実績公表

- ・ 年度終了後、各項目の実施状況を踏まえ、ハローワーク毎に総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分け、同一グループ内で相対評価
- ・ ハローワーク毎に総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

- ・ 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

(3) 評価結果に基づく業務改善

- ・ 評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施
 - 評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - 一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導
 - 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークにおいて、相対的に高評価となったハローワークにおける取組事例を全国展開

ハローワーク総合評価（令和8年度）の評価指標の構成

◆主要指標

基幹となるマッチング業務の成果を測定する評価指標

- 就職件数（一般）
- 充足数（一般・受理地ベース）
- 雇用保険受給者の早期再就職割合
- 人材不足分野の就職件数

◆マッチング補助指標

マッチング業務の実施状況を測定する評価指標

- 新規求職者1人当たりの紹介件数
- 「有効期間中1件以上紹介があった求人件数」の割合

◆満足度指標

ハローワークのサービス提供の質を測定する評価指標

- 満足度（求職者）
- 満足度（求人者）

◆所重点項目

職員の資質向上や継続的な業務改善の取組に関する評価指標

（求職者支援）

- 職員による求職者担当制の実施

（求人者支援）

- 求人に対する担当者制の実施
- 職員による事業所訪問

（その他（職員の専門性向上等））

- 職員による計画的なキャリアコンサルティング研修の受講
- 業務改善を図った取組の共有及び実施
- 他所と連携した広域労働移動の取組
- 地方自治体・地域の関係機関との連携の推進
- 各種業務研修の実施
- 業務改善コンクール表彰事例（隔年）

※このうち任意の項目を、当該所として特に重点的に取り組む「ピックアップ項目」として指定。